

地域活動のご紹介 地域から信頼され、必要とされる土業であり続けるために・・・

「未来へのおくりもの」プロジェクト、再始動!～区社協・区役所とともに企業と地域をつなぐ～

清水が実行委員長を務める戸塚泉栄工業会「未来づくりプロジェクト実行委員会」では、2020年より戸塚区役所の後援事業として「未来へのおくりもの」プロジェクトに取り組んでいます。

このプロジェクトは、戸塚区社会福祉協議会が地域の町内会や施設などから寄せられる要望をとりまとめ、それに応えられる企業を同実行委員会がマッチングする仕組みです。イベントへの協賛だけでなく、地域活動を行っている団体へ企業内の空きスペースの提供など、企業が長期的に地域とかかわるきっかけになるやりとりも見受けられました。

しかし、この取り組みが軌道に乗り始めた矢先にコロナ禍が発生。経済的な影響を受けた企業の多くが自社の経営を守ることに精一杯となり、地域貢献活動への余裕を失う状況となりました。そのため、一時的に活動の縮小を余儀なくされました。

ところが、コロナ禍を経て社会の動きが変化する中で、地域貢献を再び重視しようとする企業も増えてきました。こうした流れを受け、「未来へのおくりもの」プロジェクトも再始動します。

これまで戸塚区地域振興課(町内会や商工業支援を担当)と連携してきましたが、新たに福祉保健課(民生委員やケアプラザ、地域福祉保健計画の策定・推進を担当)も関わることになりました。

清水が「戸塚区地域福祉保健計画(とつかハートプラン)」の見直しに関するヒアリングへ招かれ、その場でこのプロジェクトを紹介しました。すると、福祉保健課の担当者からも強い関心が寄せられ、区社会福祉協議会・区の2課(地域振興課・福祉保健課)・工業会が連携し、これまでの事業の検証や、より活用しやすい仕組みへの見直しを進めることになりました。

プロジェクトを通じて、企業と地域がより強く結びつく仕組みを築くため、先行事例を作ろうと目下奮闘中です。今後もニュースレターで進捗をお知らせしていきますので、ぜひご注目ください。

